

神戸大学大学院国際文化学研究科オープンキャンパス

平成 29 年 9 月 23 日（土・祝）12:30～15:30（12:00 受付開始）

1. 次第

I 全体説明会（12:30～13:15）

B 棟1F B109教室

- ・研究科長挨拶（櫻井 徹 教授・研究科長）
- ・神戸大国際文化学研究科の魅力（土屋 敦子 文化人類学コース大学院生）
- ・研究科の構成・履修コースについて（貞好 康志 教授・教務委員長）
- ・日本語教員養成サブコースについて（齋藤 美穂 准教授）
- ・研究科の入試について（藤濤 文子 教授・入試副委員長）
- ・研究科修了後のキャリアパス（中村 覚 准教授・CDC 委員長）
- ・事前質問への回答（大和 知史・広報委員長, 関係委員長）
- ・自由質疑

II コース別説明会（13:30～15:00）

B棟・L棟・M棟2F 各教室（以下参照）

III 院生研究発表プレゼン（15:00～15:30）

文化関連専攻

B棟2F B208教室

グローバル文化専攻

B棟2F B205教室

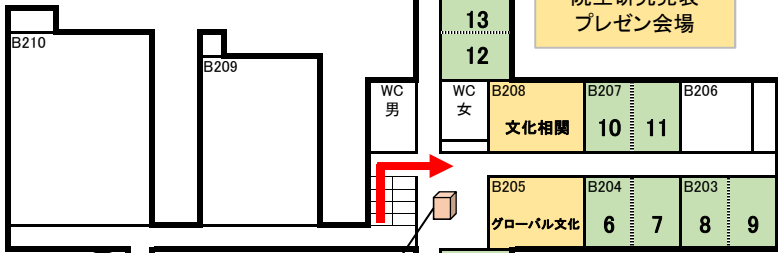
2. コース別説明会会場と出席教員

コース名	会場(2F)	コース説明会出席教員氏名
日本学	1 L202	昆野伸幸准教授
アジア・太平洋文化論	2 L203	谷川真一准教授
ヨーロッパ・アメリカ文化論	3 L204	小澤卓也准教授
文化人類学	4 L205	齋藤剛准教授, 石森大知准教授, (柴田佳子教授)
比較文明・比較文化論	5 L206	塚原東吾教授
国際関係・比較政治論	6 B204	中村覚准教授, 安岡正晴准教授
モダニティ論	7 B204	市田良彦教授
先端社会論	8 B203	櫻井徹教授, 西澤晃彦教授
芸術文化論	9 B203	吉田典子教授
言語コミュニケーション	14 M202	米本弘一教授, 湯浅英男教授, 藤濤文子教授, 田中順子教授, 齊藤美穂准教授, 川上尚恵講師, 朴秀娟講師, アルビン・エレン講師
感性コミュニケーション 先端コミュニケーション(後期課程)	10 B207	米谷淳教授
情報コミュニケーション	11 B207	村尾元教授, 康敏教授
外国語教育システム論	12 M201	加藤雅之教授, 横川博一教授, 福岡麻子准教授, 廣田大地准教授, 高橋康德講師
外国語教育コンテンツ論	13 M201	石川慎一郎教授, 柏木治美教授, 大和知史教授, グリア・ティモシー教授

3. 院生研究発表プレゼン

コース名	発表者	発表題目(予定)
日本学	松元実環	純潔教育における「純潔」の定義とその対象について
アジア・太平洋文化論	菅健吾	戦時台湾にまつわる美しい「記憶」-移民村の歴史と日本人の「歴史記憶」
ヨーロッパ・アメリカ文化論	小林達哉	ベラルーシ・ナショナリズムの考察—1918年のベラルーシ人民共和国を中心に
文化人類学	池田太陽	日本におけるダンスホール・レゲエの実践を巡るグローバル・ディスコースについての批判的考察
	土屋敦子	華人の末裔家族の記憶の痕跡——ベトナム・ホーチミン市の明郷の墓地と墓の管理をめぐって
比較文明・比較文化論	高塚忠彦	科学技術の発展と安全・安心社会の相関
国際関係・比較政治論	井上司	現代アメリカ合衆国における保守主義イデオロギーの発展と変容:保守系知識人・政治的エリート・草の根保守の相互作用を中心に
モダニティ論	池田直樹	アメリカ社会科学運動の研究——アメリカ社会学の源流
先端社会論	張嘉慧	宝塚歌劇の観客におけるジェンダー差についての検討
芸術文化論	城垣誠朗	ライブハウスを拠点とする芸術家の労働市場—副業に焦点を当てて—
	葉倩欣	カリカチュアにおける動物表象について—諷刺画家グランヴィルを中心に—
言語コミュニケーション	金晶晶	日本企業への就職を目指す留学生に求められる日本語能力—SPI 模擬試験結果から
感性コミュニケーション 先端コミュニケーション(後期課程)	村上更紗	片眉上げに関する心理学的研究
情報コミュニケーション	川田恵	コミュニケーション拡張のための感覚の変換に関する研究
外国語教育システム論	兵頭佳央理	文構造親密度が日本人英語学習者の文産出に与える影響
外国語教育コンテンツ論	中西淳	日本人英語学習者のライティングにみられる前置詞句の分析

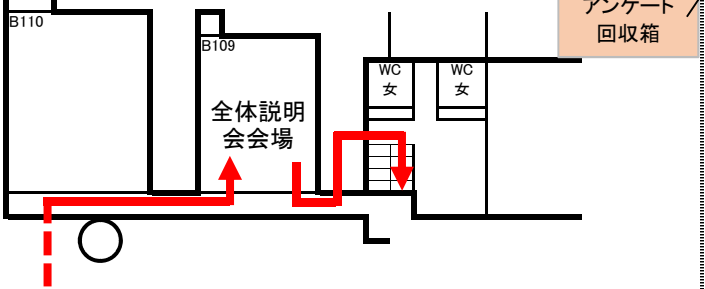
B・L・M棟2F



院生研究発表
プレゼン会場

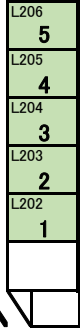
文化相關 10 11
グローバル文化 6 7 8 9

B棟1F



アンケート
回収箱

全体説明
会会場



コース別説明会
会場